

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の多機関共同研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年12月

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 富樫一智

■ 研究課題名

大腸腫瘍に対する水浸下内視鏡的粘膜下層剥離術の短期及び長期治療成績に関する研究

■ 研究期間

2023年12月 ～ 2025年12月

■ 研究の目的・意義

近年、空気や炭酸ガスの代わりに水や生食などの液体を腸管内腔に注入して行う大腸内視鏡検査が注目されています。この検査方法の利点は、必要以上に腸管を拡張させないこと、鮮明な弱拡大画像を観察できることなどに代表され、この方法を用いて内視鏡治療を行った場合、腹痛や発熱などの合併症が少ないことが報告されています。会津医療センターでは、この方法を積極的に行っているため、その治療成績を検討し、今後の前向き研究の礎となることを目指しています。

■ 研究対象となる方

2013年4月から2023年10月までに、会津医療センター及び竹田総合病院で大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術を受けた患者さんが対象です。

■ 研究の方法

上記対象患者の情報を診療録により調査し、その情報を解析します。収集する情報は、以下の項目となります。

調査項目：年齢、性別、検査理由、既往歴、内服薬、病変の存在部位・形態・腫瘍径、粘膜下層の線維化、切除前の病期診断、内視鏡治療の方法、水浸下の有無、内視鏡の操作性、使用した器具（device）、治療時間、切除標本の状態（径・切片数など）、病理組織所見、周術期合併症、内視鏡治療の完遂、術者、入院後経過、血液生化学検査結果、入院期間、転帰 など

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年1月1日

■ 研究組織

この研究は会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座を中心とした多機関共同研究です。全ての共同研究機関とその研究責任者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用し解析を行います。

【研究組織】

研究代表者	福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 教授 富樫一智
共同研究機関 研究責任者	竹田総合病院消化器内科 科長 根本大樹

■ 他の機関などへの情報の提供について

提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田21-2

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座

担当：富樫一智

電話：0242-75-2100 FAX：0242-75-2568

e-mail：togashik@fmu.ac.jp